

# 安全だより

## 無事故・無災害を自指して

2017年度(平成29年度)第2号

発行日：2017. 9. 25

発行：福山市新湍町二丁目21番30号

公益社団法人福山市シルバー人材センター

安全委員会

TEL (084) 953-5222

FAX (084) 953-5233

安全対策重点項目

[10月] 保護具装着・・・ヘルメット・安全帯の装着を確実にする。

[11月] 就業現場の環境整備・・・十分な作業計画を立て、障害物は撤去する。

### 熱中症対策期間終了と体調管理について

7月25日から開始した熱中症対策期間は、当初の予定通り8月31日で終了しました。

熱中症事案としては、期間開始前の7月3日に1件、31日に2件の合計3件発生しています。

いずれも大事には至りませんでした。共通点としては作業前ミーティングでは普段と変わらず元気そうであったこと、そして休憩時・作業終了時等の仕事をしていない時に発生しています。

以上のことから、

①熱中症は、作業前の見た目だけでは予測が困難であること

②休憩を取ることを言い出しにくく、休憩（作業終了）まで我慢していた可能性があること

が考えられます。

これらは、熱中症だけではなく、普段の就業にも当てはまります。つきましては、次のことを意識して就業にあたってください。

①体調がおかしい場合は周りに伝え、遠慮せずに休憩をとりましょう。

②目が届かない場所で孤立しての作業は絶対に行わないこと。

③就業中は互いに声掛け、目配せ等を行い、異常を早期に発見できる体制をとりましょう。

10月も近付き過ぎやすくなりますが、寒暖の差で体調も崩しやすくなっていますので、以下に考慮し、体調管理に努めてください。

①早く寝て、十分に休息を取りましょう。

②食事は栄養バランスを考えて。また、朝食は必ず摂りましょう。

③アルコールはほどほどに。

④持病のある方は、薬の服用を忘れないように。

最後に、夏場の作業の遅れを取り戻そうとして精力的に就業されている方も多いと思いますが、無理をすれば、あせりが生まれ事故を起こしやすい状況を生みます。安全就業を常に意識して作業をしていただきますようお願いいたします。

### 事故発生状況について

前月号以降、傷害事故2件、賠償事故2件が発生しました。

[傷害事故]

①ハチ刺され(7月19日)

鎌で草刈り作業中、暑さのため長袖をまくっていたところ、草むらからハチが飛び出し、左腕と右手甲を刺したものの。

## ②就業途上の交通事故（8月5日）

自家用車で就業途中、点滅信号が赤に変わり、停車したところ後続車両が追突し、胸部打撲等を負ったもの。

[賠償事故]

## ①刈払機による飛散事故（8月21日）

施設内の進入路付近で、刈払機を使用し草刈作業中、飛散対策を怠ったため進入車両に小石が飛散し、車両ボディーを損傷させたもの。

## ②除草剤散布による稲枯れ（8月29日）

田んぼに隣接した駐車場で動力噴霧器を使用し除草剤散布中、飛散対策を怠ったため、稲に飛散し枯らせたもの。

[まとめ]

賠償事故の場合、被害者はもとより発注者へも多大なご迷惑をお掛けすることになり、その後、いくら良い仕事をしたとしても、もはや発注者からの評価は得られません。

加害会員から、いまだに「今までは特に安全対策をせずとも事故は起きなかったので、今回も大丈夫と思い対策をしなかった」等の発言を聞くにつけ、非常に残念に思います。

一人ひとりが「絶対に事故を起こさない」との気概を持ち、また、「どうしたら事故は防げるか」と常に意識しない限り事故は防げません。

安全委員会としても、安全パトロールのあり方を見直し、今後は体制を強化してパトロールを実施していく予定です。

会員のみなさんも、今一度「発注者の期待に応えること」、「安全就業」について考えていただきたいと思います。

## 刈払機の飛散事故防護対策に係る安全 取扱い講習会の開催について

刈払機の飛散防止、防護対策に特化した講習会を10月に行う予定です。

日程等整い次第、対象者へは改めてご案内しますので、必ず出席してください。

## ハチに注意

今月の報告にもあるように、ハチ刺されによる傷害事故が1件発生しています。ハチは11月頃まで活動しますが、特に、スズメバチは9月～10月が一番活発な活動時期のため、被害に遭いやすくなっています。

次のことを参考にし、ご注意ください。

[予防]

- 長袖・長ズボンを着用し、露出部分を少なくする。
- 黒色は避け、白や黄色の服装・帽子を着用する。
- ハチの巣には近づかない。
- ハチから警告を受けた場合、ゆっくり、静かに後退。
- 攻撃されたときは、追い払うと余計に興奮させるため、慌てず静かに立去る。
- 虫刺されの薬、殺虫スプレーを携帯する。

[刺された場合の対応]

- 刺された場所から遠くに離れる。
- 刺された箇所周囲を強くつまみ、毒を絞り出す。
- 流水等で水洗いし、タオル等で冷やす。
- 患部に虫刺されの薬を塗る。
- 発疹、流涙、せき、嘔吐、下痢の症状がみられる場合、一刻も早く医師の手当てを受ける。

ハチ刺されを防ぐうえで、一番重要なことは、巣に近づかないことです。植え込み・草むら等、巣を作りそうな場所では、作業前点検を行い、巣がないことを確認し作業を行ってください。